

第9回 JBCF 輪島ロードレース レースレポート

パナソニックレディース 坂口聖香

開催日:2016年10月9日(日)

会場:石川県輪島市門前町周辺・周回コース

25.6km (12.6km×2)+0.4km

スタート:8:05am

Photo: Hideaki TAKAGI

朝方まで降った雨でスタート時の路面はまだウエット。

スタート直後からの2.8kmの登坂に加え、登った分下り終えると右直角ターンから始まる1.5kmの上り。

それをつなぐ程度の短い平坦区間から構成されたコース。

登りの勾配は10%〜で、上り口から頂上まで苦しい区間が続き、スタートから登坂力のある選手だけに絞られる展開になりそうなコースレイアウトでした。

レースの展開は、

スタートして登りが始まると自然にばらけ、3名に。2km地点を過ぎたところから少しスピードを上げると、気づけば頂上付近では私と慶応の福田選手の2人に。



© Hideaki TAKAGI

路面は雨が上がったもののウェットで、難易度の高いつづら折りの下り区間もあり、時おりフロントタイヤがグリップを失い滑り始めるのを感じたので、ペースを速めず丁寧に下る事を心がけました。

1 周目は 2 人で完了し、この時後ろの選手とのタイムギャップは約 40 秒。

2 周目に入り 1 つ目の急勾配な登りを終え、下り区間に入るとタイム差 1 分ほどに。

レース距離が短いので自分で勝負するところでしっかり力を使おうと考えていました。

2 周目、2 つ目の登りでアタックをしてゴールまで逃げ切ろうと考えていたのですが、Di2(電動変速機) が急に操作不能になってしまい、ギアをチェンジする事が出来なくなっていました。

自分で展開をするどころか、ここでレースは終わったかなと考えてしまいました。

運良く、下りに入る前の頂上付近でフロントの電動が作動してくれてギアをかけて下れたのですが、やはり不調で自分が決めていた展開には運ばなかったのが最後にかかったギアのまま勝負をすることになりました。

※この不調の原因はレース後 PC 接続による診断の結果、内臓バッテリーが壊れてた事から起因すると判明しました。

2 つ目の上りを超え、下から平坦区間に。下り切るとゴールまでは平坦。



© Hideaki TAKAGI

ここまで自分でレースの展開を作ったわけでもなく、このまま安易にゴールして勝負しないのは嫌だなと思ったので、平坦区間で思い切りアタックしてみると、少し距離が開いたのでそこからまた踏み直し差を縮められないよう諦めずにゴールまで向かいました。

タイム差はわずかですが、結果は1位で終わることができました。

ロードシーズンも終盤ですが、いくつかレースが残っているので、トレーニングにまた励みたいと思います。

次回レースは、10/22 ジャパンカップです。

輪島のように登坂がメインのコースなので、また登坂力のある選手に苦しめられる展開にもなると思うので、しっかり準備したいと思います。

- 1位 坂口 聖香 パナソニックレディース 50:47
- 2位 福田 咲絵 慶応義塾大学自転車競技部 +00:04
- 3位 唐見 実世子 弱虫ペダルサイクリングチーム +01:21



© Hideaki TAKAGI